

大垣市奥の細道むすびの地記念館
学 芸 事 業 報 告 書

令和 2 年度

大垣市教育委員会

目 次

1	展示活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(1)	常設展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(2)	企画展示・収蔵資料展示・・・・・・・・・・・・・・・・	2
①	第28回企画展 真筆でたどる芭蕉の生涯③ ～『奥の細道』の旅 そして終わらぬ旅へ～	2
②	収蔵資料展 発見！！おおがきの偉人 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
③	第29回企画展 蕉風俳諧の伝道師 支考 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
2	教育・普及活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
(1)	一般向けの活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
①	企画展関連講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
②	連続講座（おおがき芭蕉大学・おおがき先賢大学）	8
③	総合監修者講演会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
④	ギャラリートーク・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
(2)	子ども向け活動・学校との連携活動・・・・・・・・	10
(3)	博物館実習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
(4)	講師派遣・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
3	資料の収集活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14
(1)	寄附資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
(2)	購入資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22
(3)	預託資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22
(4)	資料補修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22

1 展示活動

(1) 常設展示

江戸時代の大垣は、城下町・宿場町・港町という3つの要素をそなえており、東西交通の要所、また、東西文化の結節点として、経済・文化が大きく発展した地であった。経済力・文化力の高さは、俳人松尾芭蕉が『奥の細道』の旅を大垣で終えたことや、江戸時代以降に大垣からさまざまな分野の先賢が輩出したこととも深いつながりがある。

常設展示では、大垣の経済や文化と関わりが深い松尾芭蕉の『奥の細道』と、大垣ゆかりの偉人である先賢について紹介している。

① 芭蕉館

芭蕉館では、松尾芭蕉の『奥の細道』について、ゆかりの資料や映像を交えながら紹介している。「月日は百代の過客にして」で始まる発端の場面から、旅のむすびの地大垣までの場면을、日光路・奥州路・出羽路・北陸路の4つの旅路に分けて紹介し、『奥の細道』全体を深く味わたる展示になっている。

館内の各所には、『奥の細道』の代表的な場면을再現したジオラマを設置しているほか、『奥の細道』の和装本や旅衣装など手で触れるレプリカも展示している。

また、芭蕉の人柄についてもパネルで紹介し、“俳人芭蕉”だけでなく、“人間芭蕉”の魅力にも触れることができる。

② 先賢館

先賢館では、江戸時代後期から幕末・維新期にかけて活躍した大垣ゆかりの先賢5人を紹介している。蘭方医の江馬蘭斎、植物学者の飯沼慾斎、女流漢詩人の江馬細香、漢詩人の梁川星巖、大垣藩重臣で文人の小原鉄心について、ゆかりの資料と映像を通じて、その生涯と偉業を紹介する。

また、先賢各人の交遊関係についても紹介している。大垣の先賢が日本史上の著名な人物たちと幅広いつながりがあったことを示す。

(2) 企画展示

松尾芭蕉・『奥の細道』と大垣の先賢を紹介する企画展を、春・夏・秋の年3回開催している。春・秋は松尾芭蕉や『奥の細道』関連の企画展、夏は大垣の先賢関連の企画展を開催している。

令和2年度の夏は、先賢に関する企画展を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、資料借用・調査が困難であったため、収蔵品による展示を開催した。

① 第28回企画展 真筆でたどる芭蕉の生涯③

～『奥の細道』の旅 そして終わらぬ旅へ～

1) 内 容

元禄2年(1689)、芭蕉は『奥の細道』の旅を通じて、物事はその本質に根差しながらも変化し続けるという「不易流行」を実感した。翌年、近江の幻住庵に滞在して以降は、漂泊の旅で感じた思いをまとめようとする。そうした中で、日常のごくありふれた事柄を、平易かつ味わい深く表現する「かるみ」を志向するようになる。

本企画展では、芭蕉が自身の考えを述べた手紙や、発句を記した懐紙などの真筆作品を紹介しながら、俳諧の新風を模索し続けた芭蕉晩年の境地についてたどった。

2) 会 期 令和2年3月28日(土)～令和2年5月10日(日)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、

4月4日～5月31日まで休館

3) 会 場 1階企画展示室

4) 主 催 大垣市・大垣市教育委員会

5) 入 館 者 数 183人(開館期間:3月28日～4月3日)

6) 出 品 点 数 18点(パネル展示は除く)

7) 主な展示資料

- ・元禄3年9月28日付正秀宛芭蕉書簡(大津市歴史博物館寄託・個人蔵)
- ・元禄3年8月上中旬頃去来宛芭蕉書簡(個人蔵)
- ・元禄5年2月18日付曲水宛芭蕉書簡(個人蔵)
- ・芭蕉筆「行はるや」発句懐紙(個人蔵)
- ・芭蕉筆「年々や」等二句懐紙(個人蔵)
- ・芭蕉筆「ほうらいに」等二句自画賛(愛知県立美術館蔵)
- ・中村物赤自画賛 芭蕉「幻住庵記」(大津市歴史博物館蔵)
- ・江戸長崎道中図(草津市蔵)
- ・元禄3年5月9日付(推定)又七(乙州)宛芭蕉書簡(当館蔵) ほか

8) 関 連 事 業 企画展関連講座 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

ギャラリートーク ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

9) 印 刷 物 ポスター・チラシ・図録(カラー32頁)

チラシ (表)

チラシ (裏)

② 収 蔵 資 料 展 発 見！！おおがきの偉人

1) 内 容

大垣は古くから交通の要衝として栄え、様々な分野の学問や文化が発展してきた。そうした環境を背景に、大垣からは数多くの偉人たちが輩出した。

本展示では、奥の細道むすびの地記念館の収蔵資料を通して、江戸後期から昭和にかけて活躍した大垣の偉人たちについて紹介した。

2) 会 期 令和2年7月18日（土）～令和2年8月30日（日）

3) 会 場 1階企画展示室

4) 主 催 大垣市・大垣市教育委員会

5) 入 館 者 数 955人

6) 出 品 点 数 15点（パネル展示は除く）

7) 主な展示資料

- ・美濃・尾張両国地理変革之図（当館蔵）
- ・和田万吉筆 扇面画（当館蔵）
- ・亜行日記（当館蔵）
- ・松本荘一郎宛辞令（当館蔵）
- ・帝国大学工科大学卒業証書（当館蔵）
- ・那波光雄学位記（当館蔵）
- ・御下賜銀杯（当館蔵）
- ・御下賜銀製煙草入箱（当館蔵）
- ・江馬細香筆 四季竹図二曲一双屏風 左隻（当館蔵）
- ・梁川紅蘭画 梁川星巖賛 山水図（当館蔵）
- ・市川少蔵宛小原鉄心書簡（当館蔵）
- ・『草木図説』草之部 稿本（個人蔵）
- ・『新訂 草木図説』草部 校正本（個人蔵）
- ・『新訂 草木図説』草部 試し刷り本（個人蔵）
- ・『新訂 草木図説』草部（個人蔵）

ほか

8) 印 刷 物 ポスター

奥の細道むすびの地記念館 収蔵資料展

発見！！ おおがきの偉人



令和 2年 **7/18** **土** ～ **8/30** **日**

ところ 大垣市奥の細道むすびの地記念館

開館時間 9:00～17:00

1階 企画展示室

大垣市奥の細道むすびの地記念館

〒503-0923 岐阜県大垣市船町2丁目26番地1

TEL 0584-84-8430

<http://www.basho-ogaki.jp/>

主催／大垣市・大垣市教育委員会

問い合わせ先／文化振興課

〒503-8601 岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地

TEL 0584-47-8067 (直通) FAX 0584-81-0715

<http://www.city.ogaki.lg.jp/>

施設案内

館内施設	芭蕉館／先賢館	観光・交流館
料 金	一般300円 団体150円 (18歳未満は無料)	無料
開館時間	午前9時～午後5時	午前9時～午後9時
休 館 日	無休 (ただし、12月29日～1月3日は休館)	



～ 法務省 人権保障キャラバンコビー ～
「誰か」のこと じゃない。
(1) 東京 2020年 10月 1日 開催 (2) 東京 2020年 10月 1日 開催 (3) 東京 2020年 10月 1日 開催

③ 第29回企画展 蕉風俳諧の伝道師 支考

1) 内 容

俳諧は何のためにする事ぞや

(『続五論』)

その答えを探し続けたのが、芭蕉晩年の弟子支考である。

美濃国山県郡北野（現・岐阜県岐阜市山県北野）で生まれた支考は、青少年時代に禅を学び、元禄3年（1690）、26歳の時、『奥の細道』の旅を前年に終えた芭蕉に入門する。芭蕉の俳諧に対する姿勢に惹かれた支考は、師を敬愛し、芭蕉の没後、各地を行脚して、芭蕉の追悼事業を行い、蕉風俳諧の普及に努めた。また、俳諧の注釈書や俳論書を執筆し、俳諧が人生を豊かにすることを説いた。その姿は、同門から野心的だと批判され、後世の人々から「俳魔支考」と驚嘆されるほどであった。

本企画展では、芭蕉の俳諧の魅力を世に広めた支考の人となりについて、直筆の手紙や懐紙、俳書などを展示しながら紹介した。

- 2) 会 期 令和2年10月3日（土）～令和2年11月15日（日）
- 3) 会 場 1階企画展示室
- 4) 主 催 大垣市・大垣市教育委員会
- 5) 入館者数 1,629人
- 6) 出品点数 20点（パネル展示は除く）
- 7) 主な展示資料
 - ・支考筆「歌書よりも」句懐紙（岐阜市歴史博物館蔵）
 - ・支考筆「二見とは」句文懐紙（大垣市立図書館蔵）
 - ・渡辺崋山画 支考像（個人蔵）
 - ・五十嵐俊明画 支考像（個人蔵）
 - ・支考筆「獅子庵終焉記」（個人蔵）
 - ・竹老人宛蓮二（支考）書簡（個人蔵） ほか
- 8) 関連事業 企画展関連講座（8頁に掲載）
- 9) 印刷物 ポスター・チラシ・図録（カラー32頁）
- 10) 同時開催 大垣市郷土館企画展 愛すべき「芭蕉のかお」

・内 容

俳人として高名な芭蕉は、数多くの肖像画が残されている。本企画展では、製作者の思いにより、さまざまな風貌で描かれる芭蕉について、関連する作品を通じて紹介した。

- ・会 期 令和2年10月3日（土）～令和2年11月15日（日）
- ・会 場 大垣市郷土館1階郷土美術室
- ・出品点数 20点（パネル展示は除く）
- ・主な展示資料

- ・小田海遷筆「ものいへば」句芭蕉坐像（記念館蔵）
- ・川村碩布筆「草臥て」句芭蕉坐像（記念館蔵）
- ・長谷川雪旦画・川路宜麦賛「花の雲」句芭蕉坐像（記念館蔵） ほか

2 教育・普及活動

(1) 一般向けの活動

① 企画展関連講座

月 日	内 容	講 師	参加者
令和2年 4月19日(日)	第28回企画展関連講座 蕉門の「かるみ」 —弟子たちの見た晩年の芭蕉—	東洋大学非常勤講師 金子 はな	新型コロナウイルス 感染拡大 防止のため 中止
10月18日(日)	第29回企画展関連講座 「古池や蛙飛こむ水のおと」は なぜ名句なのか —支考が伝えた蕉風俳諧の真髓—	豊橋技術科学大学 教授 中森 康之	75人

② 連続講座

1) おおがき芭蕉大学

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

2) おおがき先賢大学

月 日	内 容	講 師	参加者
令和3年 2月14日(日)	宇田川榕菴の生涯と業績	津山洋学資料館 学芸員 田中 美穂 ※リモート講演	30人
3月7日(日)	図書館の歴史を紡いだ人 —和田万吉の業績—	城西国際大学准教授 長尾 宗典 ※リモート講演	51人
3月21日(日)	江馬細香と頼山陽 —その愛のかたち—	愛知県立大学 非常勤講師 湯谷 祐三	56人

※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う緊急事態宣言の影響により、次のとおり、日程を変更して開催した。

内 容	変更前	変更後
図書館の歴史を紡いだ人 —和田万吉の業績—	令和2年 12月6日(日)	令和3年 3月7日(日)
江馬細香と頼山陽 —その愛のかたち—	令和3年 1月24日(日)	令和3年 3月21日(日)

③ 総合監修者講演会

月 日	内 容	講 師	参加者
令和2年 11月8日(日)	連句とはどのようなものか —古代の唱和から貞門・談林まで—	和洋女子大学教授 佐藤 勝明	56人

④ ギャラリートーク

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

(2) 子ども向け活動・学校との連携活動

① 大垣市内小学校 6 年生見学事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

【参考】

1) 目 的

芭蕉や俳句に対する興味関心を高めるとともに、郷土や先賢の偉業に対する理解を深め、ふるさとを愛する態度を養う。

2) 学習内容

- ・ AV シアターの映像視聴で松尾芭蕉と奥の細道紀行について学ぶ。
- ・ 芭蕉館・先賢館において、担当者による展示解説などを通して松尾芭蕉や大垣の先賢等について学ぶ。
- ・ 船町川湊を散策し、名勝「奥の細道の風景地」の景観に触れ、俳句の種を見つける（十六万市民投句に投句する）。

② よろづ芭蕉相談室

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

③ その他

依頼に応じて実施した子ども向け活動・学校との連携活動は、以下のとおりである。

月 日	活動内容	備 考
令和2年 7月21日(火)	The Basho Theater 座・芭蕉劇場 ―振り返る『奥の細道』 芭蕉・ 曾良― (寸劇)	大垣市立多良小学校6年生 出前講座
9月5日(土)	The Basho Theater 座・芭蕉劇場 ―振り返る『奥の細道』 芭蕉・ 曾良― (寸劇)	大垣市立安井小学校6年生 出前講座
10月29日(木)	The Basho Theater 座・芭蕉劇場 ―振り返る『奥の細道』 芭蕉・ 曾良― (寸劇)	大垣市立墨俣小学校6年生 出前講座
11月10日(火)	The Basho Theater 座・芭蕉劇場 ―振り返る『奥の細道』 芭蕉・ 曾良― (寸劇)	大垣市立西小学校5年生 出前講座
11月11日(水)	The Basho Theater 座・芭蕉劇場 ―振り返る『奥の細道』 芭蕉・ 曾良― (寸劇)	大垣市立多良小学校3年生 記念館見学
11月20日(金)	The Basho Theater 座・芭蕉劇場 ―振り返る『奥の細道』 芭蕉・ 曾良― (寸劇)	山県市立高富小学校6年生 記念館見学
12月1日(火)	The Basho Theater 座・芭蕉劇場 ―振り返る『奥の細道』 芭蕉・ 曾良― (寸劇)	大垣市立綾里小学校6年生 出前講座
令和3年 2月24日(水)	The Basho Theater 座・芭蕉劇場 ―振り返る『奥の細道』 芭蕉・ 曾良― (寸劇)	大垣市立江東小学校6年生 出前講座

(3) 博物館実習

3 大学、4 人を受け入れた。

① 実習概要

日 時	令和 2 年 7 月 31 日（金）～8 月 3 日（月） 8:30～16:30		
場 所	7 月 31 日（金）	奥の細道むすびの地記念館	
	8 月 1 日（土）	大垣市守屋多々志美術館	
	2 日（日）	歴史民俗資料館	
	3 日（月）	奥の細道むすびの地記念館	
実習生	富山大学 芸術文化学部 芸術文化学科		1 名
	岐阜女子大学 文化創造学部 文化創造学科		2 名
	名古屋芸術大学 芸術学部 芸術学科		1 名

② 実習内容

実習日	実習内容
7 月 31 日	担当：上嶋康裕 学芸員、山崎和真 学芸員 1) 講話「所蔵作品、資料の管理について」 ・収蔵庫の見学と管理のしかた、留意点について ・歴史資料を扱う際のルールや注意すること 2) 講話「展示見学」 ・展示資料の解説 ・展示の工夫 3) 実習「地域に残る古文書の現状記録作業」 2 グループ（2 人ずつ）に分かれて、以下の実習を行った。 ・赤坂宿本陣関係文書の現状記録調査カードへの記入 ・写真及びスケッチによる記録 ・中性紙封筒への保存の仕方 ・古文書の読み取り実習（くずし字用例辞典の活用） ・古文書の開き方やたたみ方
8 月 3 日	担当：上嶋康裕 学芸員、山崎和真 学芸員 1) 実習「収蔵展示ギャラリートーク実習」 ・山崎学芸員による収蔵展示ギャラリートークをもとにした実習 ・作品解説実習 2) 実習「地域に残る古文書の現状記録作業」 ・赤坂宿本陣関係文書の現状記録作業

(4) 講師派遣

月 日	講座・講演会名	内 容
令和 2 年 11 月 12 日(木)	柘植の里芭蕉翁を顕彰する会 令和 2 年度しぐれ忌	芭蕉涅槃図の世界
12 月 2 日(水)	大垣市かがやき出前講座	蕉風俳諧の伝道師 支考 —その生涯とところ—

3 資料の収集活動

奥の細道むすびの地記念館は大垣の歴史と文化を世界発信するため、次の3分野に関連する資料を積極的に収集し、それらを保管、公開（情報発信）及び専門研究を行うことを基本的な柱とする。

I 芭蕉館に関連する資料の収集について

- i 松尾芭蕉、『奥の細道』、大垣蕉門、岐阜蕉門、全国の元禄期俳人、美濃派道統、近世俳諧史に関連する人物の資料と関連情報を調査・収集し、それらの保管、公開（情報発信）及び専門研究を行う。
- ii 「i」に関連する資料であれば、必要に応じて比較資料や参考資料も収集対象とする。
- iii 貸出用、普及行事用、展示用資料として写本、拓本、写真、刊行物、複製品等の二次資料も収集対象とする。
- iv 特に松尾芭蕉、『奥の細道』、大垣蕉門、岐阜蕉門に関連する資料は網羅的に収集する。

II 先賢館に関連する資料の収集について

- i 江馬蘭斎・飯沼慾斎・江馬細香・梁川星巖・小原鉄心の五先賢に関連する資料及び五先賢に関連する重要人物の資料と関連情報を調査・収集し、それらの保管、公開（情報発信）及び専門研究を行う。
- ii 「i」に関連する資料であれば、必要に応じて比較資料や参考資料も収集対象とする。
- iii 貸出用、普及行事用、展示用資料として写本、拓本、写真、刊行物、複製品等の二次資料も収集対象とする。

III 大垣の歴史と文化を研究するための資料の収集について

- i 大垣の歴史や文化を知る上で、重要と思われる中世から戦前期までの出来事や人物の資料と関連情報を調査・収集し、それらの保管、公開（情報発信）及び専門研究を行う。
- ii 大垣の歴史や文化を知る上で、良好な状態で保管が必要と思われる資料や国・県・市指定の重要文化財等も収集対象とする。

収蔵資料点数

	館蔵資料	預託資料	合 計
点 数	2,005 点	265 点	2,270 点

令和2年度の新規収蔵資料及び資料補修は、以下のとおりである。

(1) 寄附資料

資 料 名	数 量	時 代
『笈の小文』	1 冊	江戸中期
『桃青二十歌仙』 上・下巻	2 冊	江戸後期
『五元集』 元・享・利・貞巻	4 冊	江戸後期
『続の原』	1 冊	江戸後期
吉川観方写 杉山杉風筆 芭蕉坐像	1 幅	大正～昭和
『誹諧奥の枝折』 上・下巻 (後刷)	2 冊	明治
『其角発句集』 上・下巻	2 冊	江戸後期
木因筆「供烏帽子」等二句懐紙	1 枚	江戸中期
『蓮二吟集』 上・下巻	2 冊	江戸中期
虚子「草枯の」句幅	1 幅	
芭蕉「朝顔に」句画賛	1 幅	
一茶「脇は四道…」句文稿	1 幅	
松本奎堂 咏竹五言絶句	1 幅	
雪舟 芦葉達磨図	1 幅	
芭蕉「ほそ道に」句入書簡	1 幅	
田能村竹田 山水図	1 幅	
池大雅 蘭亭曲水宴図	1 幅	
千代尼「鳴かぬものと」句短冊	1 幅	
芭蕉「さなへつかむ」句文懐紙	1 幅	
芭蕉「野をよこに」・其角「子規」句扇面 (表裏)	1 本	
芭蕉 了水宛書簡	1 幅	
芭蕉「いかめしき」句短冊	1 幅	
芭蕉「時鳥」句色紙	1 幅	
芭蕉「あそび来ぬ」句短冊	1 幅	
芭蕉「いざ出む」句短冊	1 幅	
芭蕉 千来宛書簡	1 幅	
芭蕉 三千宛書簡	1 幅	
芭蕉「花の雲」句懐紙	1 幅	
芭蕉「枯枝に」句色紙	1 幅	
芭蕉「華のくも」句短冊	1 幅	
芭蕉 杉風宛書簡	1 幅	
一茶 書簡	1 幅	
曲亭馬琴「炉にこぞる」句画賛扇面	1 本	
葛飾北斎 (画)・臥央 (賛)「いさましや」句画賛扇面	1 本	

資 料 名	数 量	時 代
芭蕉 大高源吾宛書簡	1 幅	
芭蕉「こがらしや」句色紙	1 幅	
芭蕉「さなへつかむ」句文懷紙	1 幅	
貝原益軒「愛人倫為人道説」	1 幅	
樗良筆「かきつばた」句画賛	1 幅	江戸後期
許六画・野水賛「春風に」句画賛	1 幅	江戸中期
樗良筆「山寺や」句画賛	1 幅	江戸後期
許六筆「ほととぎす」句画賛	1 幅	江戸中期
秋月堂画・越人賛「三つの顔」句画賛	1 幅	江戸中期
其角筆「かささぎや」句短冊	1 幅	江戸中期
園女「乗ちらし」句画賛扇面	1 本	
方信画・去来賛「数そふや」句画賛	1 幅	江戸中期
其角筆「御秘蔵に」句画賛	1 幅	江戸中期
季吟筆「あふさかに」句短冊	1 幅	江戸前期
芭蕉 雪芝宛書簡	1 幅	
芭蕉 左柳宛書簡	1 幅	
去来「罌粟をきる」句短冊	1 幅	
支考筆「あそこには」句画賛	1 幅	江戸中期
卓池筆「雨乞の」句画賛	1 幅	江戸後期～幕末
其角「ゆふだちや」句懷紙	1 幅	
乙由「青田より」句画賛	1 幅	
淡々「千秋万歳」一行画賛	1 幅	
谷文晁 狸図	1 幅	
「山林ト幽棲」書扇面	1 幅	
井泉水「柿赤し」句一行物	1 幅	
蓼太「此鳥の」句画賛	1 幅	
也有筆「刈あとや」句画賛	1 幅	江戸中期
伊藤圭介筆「延壽萬年」一行物	1 幅	幕末
青々「つくつくぼうし」句一行物	1 幅	
一茶「その声で」句画賛	1 幅	
藤井達吉「うつし世も」短歌画賛	1 幅	
千代尼「朝々の」句画賛	1 幅	
哥川・千代尼・珈涼三女流俳人短冊	1 幅	
一茶 句帖	1 冊	
宗祇 与四郎宛書簡	1 幅	
許六筆 竹雀図	1 幅	江戸中期
其角筆「夕日影」句画賛	1 幅	江戸中期

資 料 名	数 量	時 代
嵐雪筆「白鷺や」句色紙	1 幅	江戸中期
関更筆「梅がかや」句画賛	1 幅	江戸後期
其角筆「やぶ入や」句短冊	1 幅	江戸中期
千溪画・暁台賛「鶏の」句画賛	1 幅	江戸後期
惟然筆「誰ものぞ」句短冊	1 幅	江戸中期
季吟「はせを」改名由来句文懷紙	1 幅	
千代尼筆「涼しさや」句画賛	1 幅	江戸中期
巴静「晦日に」句画賛	1 幅	
乙由筆「酔て来る」句幅	1 幅	江戸中期
其角筆「川筋の」句短冊	1 幅	江戸中期
立圃筆 句稿卷	1 卷	江戸前期
蓼太筆「おもしろの」句文芭蕉坐像	1 幅	江戸後期
芭蕉「さなへつかむ」句文懷紙	1 幅	
香堂 高砂図	1 幅	
礫亭 瓢筆画賛	1 幅	
渡辺崋山「七月や」句画賛	1 幅	
近藤浩一路 採筍・大原女・魔火（三幅対）	3 幅	
宮本武蔵 枯木鳴鴉図（複製）	1 幅	
円山応挙「都にも」句短冊	1 幅	
栄山寺鐘銘（拓本）	1 幅	
木它（画）・月斗（賛）「末に山」等二句画賛（双幅）	2 幅	
前田青邨画・清水公照賛 金色観音像（複製）	1 幅	
藤井達吉「ふるさとの」短歌色紙	1 幅	
耕衣「白桃を」句画賛	1 幅	
蒼月「寒深酒戒開」一行物	1 幅	
渡辺小華 芭蕉菊図	1 幅	
秀海 大字「渴清塵」	1 幅	
泊雲「早春」・泊月「かたがげり」句一行物（双幅）	2 幅	
士朗筆「けふも見へ」句画賛	1 幅	江戸後期
宗因筆「紅葉より」句短冊	1 幅	江戸前期
蓼太筆「さみだれや」句画賛	1 幅	江戸後期
園女「光あるや」句懷紙	1 幅	
淡々筆「鳥を釣る」句画賛	1 幅	江戸中期
曾北 象見物二句懷紙	1 幅	
守武筆「ほととぎす」句画賛	1 幅	室町後期
守武筆「雪いづれ」句画賛	1 幅	室町後期
野水筆「麦喰ひし」句短冊	1 幅	江戸中期

資 料 名	数 量	時 代
暁台 己千宛書簡	1 幅	
支考筆「川ふねや」句入書簡	1 幅	江戸中期
暁台「ほととぎす」句画賛	1 幅	
三千風筆「笠の端の」句文懷紙	1 幅	江戸中期
廬元坊筆「ある道を」句短冊	1 幅	江戸中期
涼袋「きつつきの」句画賛	1 幅	
立圃筆「月は箔」句画賛	1 幅	江戸前期
貞徳筆「露はなだれ」等三句懷紙	1 幅	江戸前期
涼袋筆「菊のはな」句画賛	1 幅	江戸後期
李由筆「秋たけて」句画賛	1 幅	江戸中期
樗良筆「きり売りの」句画賛	1 幅	江戸後期
樗良筆「あかるさや」句画賛	1 幅	江戸後期
去来筆 吟重陽発句懷紙	1 幅	江戸中期
乙由筆「うき草や」句画賛	1 幅	江戸中期
野坡筆「名月や」句文懷紙	1 幅	江戸中期
支考・廬元坊筆「あぶの目の」句文懷紙	1 幅	江戸中期
丈草筆 如朴宛書簡	1 幅	江戸中期
竹夜画・支考（賛）「あふむくも」句画賛	1 幅	江戸中期
杜国筆「うれしさは」句懷紙	1 幅	江戸中期
杉風筆「其影の」句画賛	1 幅	江戸中期
許六筆「高砂え」句画賛	1 幅	江戸中期
廬元坊筆「たづねあたる」句画賛	1 幅	江戸中期
一品筆「鳥の文」句画賛	1 幅	江戸中期
其角筆「火鉢の記」懷紙	1 幅	江戸中期
羽紅筆「苦船に」句色紙	1 幅	江戸中期
暁台筆「八重がすみ」句幅	1 幅	江戸後期
木因筆「うぐひすの」句文懷紙	1 幅	江戸中期
烏丸光広「入道も」句短冊	1 幅	
貞徳・季吟筆「うぐひすの」句懷紙	1 幅	江戸前期
宗因筆「故郷へも」句短冊	1 幅	江戸前期
淡々筆「森の鶺鴒の」句画賛	1 幅	江戸中期
珈涼「名月や」句画賛	1 幅	
木因『寢覚の折々』（写本）	1 冊	
乙由筆「唐絵にも」句懷紙	1 幅	江戸中期
貞室筆 利宣宛書簡	1 幅	江戸前期
言水筆「こがらしの」句短冊	1 幅	江戸中期
宗因筆「袖ひちて」句画賛	1 幅	江戸前期

資 料 名	数 量	時 代
北枝筆「ふな鯨」句文懷紙	1 幅	江戸中期
千代尼筆「うき草や」句画賛	1 幅	江戸後期
宗臆「雪と見て」句短冊	1 幅	
言水筆「夜着きても」句短冊	1 幅	江戸中期
大江丸筆「木がくれて」句画賛	1 幅	江戸後期
乙由筆「金の間を」句画賛	1 幅	江戸後期
支考（画）・芭蕉（賛）「雲霧の」句文画賛	1 幅	
宗因筆 賦何路連歌百韻懷紙	1 卷	江戸前期
乙由筆「やがて染る」句画賛	1 幅	江戸中期
乙由筆「たなばたに」句短冊	1 幅	江戸中期
許六筆「鳴たつや」句画賛	1 幅	江戸中期
樗良筆「秋のあはれ」句画賛	1 幅	江戸後期
支考「橘の」句画賛	1 幅	
暁台「三日月に」句画賛扇面	1 本	
涼袋筆「みよしのも」句画賛扇面	1 本	江戸後期
宗因筆「しげり芦に」句文画賛	1 幅	江戸前期
乙由筆「夕すずみ」句画賛	1 幅	江戸中期
珈涼「舟橋や」句画賛	1 幅	
智月筆「山つつじ」句扇面	1 本	江戸中期
長翠画・白雄賛「何尺も」句画賛	1 幅	江戸後期
涼菟筆「しら玉か」句画賛	1 幅	江戸中期
丈草筆「ふらふらと」句短冊	1 幅	江戸中期
立圃筆「雲霧や」句文画賛	1 幅	江戸前期
亀田鵬斎「花に酔ひ」句扇面	1 本	
破笠画・也有賛「千歳の」句画賛	1 幅	江戸中期
瓢水「折れて飛」句幅	1 幅	
巢兆「蔓ながら」句画賛	1 幅	
毛紈筆 芭蕉句俳画卷	1 卷	江戸中期
木導「うら枯の」句画賛	1 幅	
珈涼「瓜なすび」句画賛	1 幅	
烏丸光広筆「雁鳴て」句短冊	1 幅	江戸前期
蕪村「温石之銘」懷紙	1 幅	
瓢水「ほろほろと」句懷紙	1 幅	
巴静「あけぼのも」句画賛	1 幅	
兼与「下水や」句短冊	1 幅	
五嶺（画）・大魯（賛）「稻妻や」句画賛	1 幅	
桃隣筆「老竹の」句画賛	1 幅	江戸中期

資 料 名	数 量	時 代
山東京伝 土堤画賛扇面	1 本	
配力・土芳・雪芝・車来「肩衣の」歌仙	1 幅	江戸中期
士朗「沢山な」句画賛	1 幅	
其角筆「三尺の」句短冊	1 幅	江戸中期
立圃筆「かけ鯛も」句画賛	1 幅	江戸前期
其角筆 桑鵝宛書簡	1 幅	江戸中期
其角筆「花鳥の」句文懷紙	1 幅	江戸中期
曾良筆「夜もすがら」句画賛	1 幅	江戸中期
蘭更「うしとみし」句文懷紙	1 幅	
巴静「垣にささげ」句画賛	1 幅	
月溪「せしやうや」句画賛	1 幅	
蓼太筆「ともしびを」句画賛	1 幅	江戸後期
露川筆「ぬめりても」句画賛	1 幅	江戸中期
一茶「なでられに」等九句句稿懷紙	1 幅	
蕪村 書簡	1 幅	
宗因筆 氏延宛書簡	1 幅	江戸前期
支考 杉里宛書簡	1 幅	
蕪村「水仙や」句画賛	1 幅	
乙由「木兔の」句画賛	1 幅	
暁台「中天を」句文幅	1 幅	
越人評点「華散て」歌仙	1 卷	江戸中期
百川編『瓜名月』稿本卷	1 卷	
越人評点「辻君の」歌仙	1 卷	江戸中期
北枝筆「しぐれねば」句画賛	1 幅	江戸中期
其角筆「鮫鰯や」句画賛	1 幅	江戸中期
露川筆「事かかぬ」句画賛	1 幅	江戸中期
越人評点「糸による」歌仙	1 卷	江戸中期
越人評点「散花は」五十韻	1 卷	江戸中期
去来筆「立年の」句一行物	1 幅	江戸中期
土芳筆「小男鹿の」句画賛	1 幅	江戸中期
許六筆「目釘竹」句画賛	1 幅	江戸中期
一晶筆「蚊やの海」句画賛	1 幅	江戸中期
谷文晁 李白觀瀑図	1 幅	
藤原光信 富士山図	1 幅	
月僊 山水遊楽図	1 幅	
蒼月 大字「鶯」	1 幅	
池大雅 山水図	1 幅	

資 料 名	数 量	時 代
渡辺崋山 美人詩	1 幅	
千代尼 寒亭宛書簡	1 幅	
蓮月「しらぎくの」和歌画賛	1 幅	
月居「春の雨」句画賛	1 幅	
也有「我門へ」句画賛	1 幅	
千代尼筆「鉢たたき」句画賛	1 幅	江戸後期
也有「ことし鷺」句画賛	1 幅	
士朗「さはつても」句画賛	1 幅	
涼袋筆「みじかしと」句画賛	1 幅	江戸後期
士朗「鷺を」句画賛	1 幅	
蓮月「あさ風に」和歌短冊	1 幅	
頼山陽 枯木詩画賛	1 幅	
狩野探幽 布袋図	1 幅	
谷文晁 五言二句「山静…」	1 幅	
北向雲竹 七言絶句「葉々…」墨竹図画賛	1 幅	
北向雲竹「如蓮華在水」一行物	1 幅	
北向雲竹「色かへぬ」句墨竹図画賛	1 幅	
蜀山人「世の中は」狂歌	1 幅	
谷文一（画）・蜀山人（賛）「六々の」狂歌画賛	1 幅	

(2) 購入資料

資 料 名	数 量	時 代
『地学雑誌』第 337 号～第 348 号（合本）	12 冊	大正
『日本の風土・支那の風土』	1 冊	昭和
『日本風景の研究』	1 冊	昭和
『地学論叢』第一	1 冊	明治
『実科教育 世界地理』	1 冊	大正
『地学雑誌』大正 7 年 10 月号	1 冊	大正
『科学知識』大正 12 年 3 月号	1 冊	大正
梁川星巖筆 山水自画賛	1 幅	江戸後期～幕末
『二節詩歌櫛英』	1 冊	江戸後期
『白菊集』上巻	1 冊	江戸後期
『航西詩稿』	1 冊	明治
小村欣一宛関屋龍吉書簡	1 通	大正
竹中谷右衛門・塩川清蔵宛小原鉄心書簡	1 通	江戸後期～幕末
明治書院宛和田万吉葉書	4 枚	昭和
芭蕉点「有難や」点巻断簡	1 幅	江戸中期
芭蕉筆「牡丹菫分て」等二句懷紙	1 幅	江戸中期
東藤画・芭蕉筆「たび人と」謡前書付句画賛	1 幅	江戸中期
芭蕉筆「麦蒔て」三物懷紙	1 幅	江戸中期
芭蕉筆「あら海や」句文懷紙	1 幅	江戸中期
美濃赤坂矢橋家文書	1 式	江戸後期～明治
故人庵主宛支考書簡	1 幅	江戸中期
木因筆「白菊や」句文懷紙	1 幅	江戸中期
狐山画 秋窓賛「しばらくは」句芭蕉坐像	1 幅	江戸後期
『三月越集』	1 冊	幕末
『車窓から観た自然界 東海道』	1 冊	昭和
『天文の話・鉱物の話 小学生全集 62』	1 冊	昭和
『新式鉱物学』	1 冊	明治
『地学雑誌』第 325 号～第 336 号（合本）	12 冊	大正
『中学鉱物界』	1 冊	明治

(3) 預託資料

資 料 名	数 量	時 代
—	—	—

(4) 資料補修

資 料 名	数 量	時 代
寛保 3 年 3 月 19 日付免湘宛廬元坊書簡	1 幅	江戸中期

大垣市奥の細道むすびの地記念館 学芸事業報告書 令和2年度

発 行 日 令和3年3月31日

編集・発行 大垣市教育委員会

〒503-8601

岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地

TEL:0584-47-8067 (文化振興課 直通) FAX:0584-81-0715